



## 平成30年度中学校武道授業(空手道)指導法研究事業

平成30年度中学校武道授業(空手道)指導法研究事業(主催=日本武道館・全日本空手道連盟・日本武道協議会)が11月29日・30日に研究者5名と研究協力者4名が集まり、東京都千代田区の三輪田学園中学校・高等学校と日本武道館で行われた。29日には、研究者たちは三輪田学園の中学3年生(1クラス・38名)の空手道授業を視察し、指導法の研究協議を重ねた。

### ■ 1日目(11月29日)

#### ◇開講式

12時30分から三輪田学園中学校・高等学校の会議室で開講式が行われた。

はじめに有竹隆佐ありたけたかすけ全日本空手道連盟専務理事が「現在、空手道の採用校は300校近くあります。これを2,020年までには500校にしていきたいと考えております。次世代を担う者たちを育てる中学校武道必修化にとって、この研究会は非常に大切な事業であると実感しております」と主催者挨拶を述べた。

同じく主催者を代表して、三藤芳生みつふよしお日本武道館常任理事・事務局長が「中学校武道必修化は今年で丸7年を迎えました。空手道は300校近くの学校で採用され、当初から比べると2倍以上の増加であります。来年度はスポーツ庁の事業として、複数種目を実施できるモデル実践校を指定し、予算化

することが内定しております。空手道には中学生が体力的にも、あるいは礼儀作法、精神的にも学習効果の高い素材がたくさんあります。先生方には今後も空手道の素晴らしさを全国の中学校に広めていただくよう、よろしくお願いたします」と挨拶を述べた。

その後、研究者・研究協力者の自己紹介、本研究事業の概要が説明された後、授業視察に移った。

#### ◇授業視察

授業は体育館で行われた。授業を担当するのは喜納真由美きなまゆみ教諭。喜納教諭は前任校の普連土学園中学校でも空手道の授業を6年間行っており、平成29年度から三輪田学園中学校・高等学校に赴任。三輪田学園中学校では中学3年生で週3回の体育のうち1回、武道の授業を実施し、喜納教諭が赴任してからは空手道の授業を行っている。中学3年生の生徒たちは通年授業1年目となり、この日は今年度20回目の授業となる。

準備体操の後、喜納教諭が前で示範しながら、全員でその場での順突きや中段突きなどの動作を確認。そして、基本形二を行った。

続いて喜納教諭が「今日は無号令で基本形二ができるようになってください」と課題を与えて、6つのチームに分かれて、それぞれ基本形二を確認した。各チームではiPadを使用してチーム全体での動きを録画し、「まだ突きの腕の位置が高いか

な？」などと振り返りながら技術を磨いていた。

チームでの練習が終わった後は、「気をつけ、礼」と退場のみの号令で、8チーム一斉に基本形2を行った。喜納教諭は「初めて号令なしでやったとは思えない出来栄です。自信を持ってください！」と生徒を励ました。



ipad を使用しながら基本形二を確認

基本形二の後は、ミニ演武会に移った。生徒たちは察して、研究者たちが座るイスを準備していたのが印象的だ。まず全員で、その場基本、移動基本、基本形1を披露。その後、5チームに分かれて、グループごとに平安二段、平安初段、平安三段、平安四段、平安五段の形分解が行われ、最後に選抜チームによる基本形一の演武が行われた。なお演武を行うチームのみに照明が当たるよう、ライトが随時切り替えられた。



選抜チームによる基本形一の演武

最後に、喜納先生は生徒たちを「よくここまで仕上げてくれました。感動しています！人間は大きな目標を持つと強いのです。演武会という目標をもった皆さんは、それに向けて突き進んでくれました。君たちは空手道を一生続けるわけではないと思います。しかし、空手道から学んだ『平常心』『集中力』『察する』ということを日常の生活で活かしていくことが重要です。高校生になっても、この授業で学んだことを忘れないで学生生活を送ってください」と諭し、授業を締めくくった。

## ▽生徒の声

「空手道は見たことがなくて最初は不安はありましたが、みんなの動きが揃った時はかっこよく、とてもきれいでした」

「最初の授業はわからないことばかりでしたが、こうやってみんなと協力して、空手道はすごく楽しいということがわかりました」

「チームワークとか先生が言っていた『察する』ことは今後も活かせることだと思います」

場所を会議室に戻し、研究協議に移った。喜納教諭から授業の詳細や経緯についての説明の後、質疑応答が行われた。研究者や研究協力者からは「生徒の反応が良かったのは、喜納教諭の言葉遣いや接し方が丁寧だったからではないか」「上靴がきれいに揃えられていたのは指導が行き届いている証拠である」「準備体操の中に、空手道の動きを取り入れたり補強運動を入れても良いのではないか」「場所が広いので、もう少し移動基本を取り入れてもいいのではないか」などの意見が出た。

次に、「女子生徒の武道授業について～空手道授業実施に向けて～」というテーマで研究協議を実施し、女子生徒に対する空手道授業の課題についてグループごとに話し合い、検討した。

## ■ 2日目（11月30日）

翌30日は日本武道館大会議室で、体育祭用団体演武マニュアルについて、授業における多様な空手道指導についてなど研究協議が行われた。

研究協議終了後、閉講式に移り、<sup>こやまさし</sup>小山正辰研究者から総括が述べられた後、<sup>くさかしゅうじ</sup>日下修次全日本空手道連盟理事・事務局長と<sup>よしの よしのぶ</sup>吉野喜信日本武道館振興部長が主催者挨拶を行い、閉会した。

